

令和7年7月16日（水）	
連絡先	総務部知事公室 美しい南部東部振興課
担当者	大西、西川
電 話	0744-48-3015

第35回紀伊半島知事会議の結果概要について

令和7年7月15日に開催しました第35回紀伊半島知事会議の概要については、以下のとおりでした。

開催日 令和7年7月15日（火）

開催場所 ネムリゾート（三重県志摩市）

出席者 三重県知事 一見 勝之
奈良県知事 山下 真
和歌山県知事 宮崎 泉

概要

【南海トラフ地震等の大規模災害に備えた半島防災の取組】

令和7年3月に改正された半島振興法において半島防災の強化が盛り込まれたことから、各県における南海トラフ地震等の大規模災害に備えた防災対策の取組事例や広域防災拠点の整備状況等を共有しました。

今後も、3県でお互いの連携をさらに深めるため、平成8年に締結した「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定」を見直し、次の紀伊半島知事会議を見据え、半島防災の強化に向けた一定の成果を得ることを目標に議論を進めていくことを確認する「半島防災に関する みえ合意」に各県知事が署名しました。

【林業振興の取組】

森林資源の循環利用や花粉発生源対策、林道整備の状況や林業における担い手の確保など、各県が抱える共通の課題や取組事例を共有するとともに、林業振興に向けて今後も3県で連携していくことを確認しました。

【紀伊半島アンカールートの整備推進】

命の道であり重要物流道路でもある紀伊半島アンカールートの整備推進について、引き続き3県が連携して取り組んでいくとともに、国へ要望することで合意しました。

【熊野川流域の総合的な治水対策および土砂災害対策】

熊野川流域の総合的な治水対策および土砂災害対策について、引き続き3県が連携して取り組んでいくとともに、国へ要望することで合意しました。

半島防災に関する みえ合意

紀伊半島は、海洋、森林、温泉などの自然資源に恵まれるとともに、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとする歴史的・文化的資源が豊富に存在している。一方、地理的な制約から産業基盤や生活基盤の整備が遅れるなど、地域の努力だけでは解決できない課題も多く、令和7年3月には、半島振興法が改正され、法律上初めて「半島防災」が明記されるとともに、孤立地域対策やインフラ整備の推進が盛り込まれたところである。

近い将来発生するおそれのある南海トラフ地震等の大規模災害から、住民の生命・財産を守り、紀伊半島の持続的発展を実現していくためには、国土強靱化に向けたインフラ整備や治水対策に加え、半島防災の取組をより一層強化していく必要がある。

私たち3県はお互いの連携を更に深めていくため、平成8年に締結した「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定」を見直し、次の紀伊半島知事会議を見据え、南海トラフ地震等の大規模災害に備えた半島防災の強化に向けた一定の成果を得ることを目標に議論を進めていくことをここに合意する。

令和7年7月15日

三重県知事

一見 勝之

奈良県知事

山下 真

和歌山県知事

宮崎 泉